

「地域密着型金融(平成22年度)」の取組み状況について

当行は、「地域との共生」を主眼に、これまでの地域密着型金融への取組みをさらに進めるべく、以下の3分野について積極的に取組んでまいりました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

具体的な取組みとしては、

■平成22年11月17日・18日の両日、「産学官連携“関西活性化”フェア」を開催いたしました。近畿経済産業局等のご後援をいただき、33の団体が、「明日の関西を支える研究や技術、産業振興策」を紹介するとともに、個別にいろいろなお相談もお受けしました。数々の講演会や中国・蘇州市の「企業誘致セミナー」なども開催いたしました。



■当行と堺市は、中小企業振興を核とした、堺市経済の持続的発展を目指し、平成23年3月11日に「産業振興連携協力協定」を締結いたしました。さらに、今回の協定を機に「堺市産業振興ファンド」を創設いたしました。また、5月27日には、相互の連携により「協定締結記念シンポジウム」を開催いたしました。なお、当行も堺市も、このような包括的な協定を締結することは初めてとなります。



■平成23年5月9日には、「創業60周年記念・ビジネス交流会」を開催いたしました。当行のお取引先約500社をはじめ、「関西の活性化」に欠かせない40団体の皆さまにもご参加いただき、異業種交流、産学官交流の場として、大変活発な情報交換が行われました。



創業60周年記念ビジネス交流会

■地元中小企業のより一層の「競争力向上」「新たな仕事の創造」に繋がることをねらいに創設しました「コンソーシアム研究開発助成金」。第7回目となる平成22年度分の採択プランを、5月9日のビジネス交流会の場にて発表し、15プランに対して総額3,000万円の助成金を交付いたしました。

■産学連携としては、平成22年8月27日に関西大学と、平成23年2月24日に近畿大学と、3月8日に龍谷大学と、5月24日には和歌山大学と、それぞれ「産学連携協定」を締結いたしました。これにより、連携協定締結の大学は10校となりました。



コンソーシアム研究開発助成金 表彰式

当行は、これからも、「地域のため、地域のお客様のお役に立つ」ことを念頭に、地域力を高め、地域社会の活性化へ貢献できるよう、役職員一同、総力をあげて取組み、「地域からのご支持No.1」のご評価をいただける銀行を目指してまいります。